



## 麻疹（はしか）を予防するには？

### 1：麻疹（はしか）とは？

麻疹ウイルスによって引き起こされる全身感染症です。麻疹ウイルスに対する免疫を持っていない人の体内にウイルスが侵入すると、ほぼ100%症状が現れます。一度感染すると、一生免疫が持続すると言われています。初期症状は38度前後の発熱や咳、鼻水であり、2～3日後に39度以上の発熱と発疹（皮膚にできる赤いブツブツ）が出現します。肺炎や中耳炎を合併しやすく、1000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われています。また、麻疹ウイルスに効果のある薬はないため、発症時には対症療法（症状をやわらげる治療）しかありません。

日本では子供を対象に、麻疹ワクチンの定期接種を行っており、麻疹は排除状態にあります。しかし、麻疹報告数の多い地域（表1）からウイルスが持ち込まれ、感染するケースがあります。

表1 厚生労働省  
「麻疹について」より引用

麻疹報告数 上位10の国々	
国名	報告数
インド	68,473
イエメン	7,554
インドネシア	5,754
エチオピア	4,505
パキスタン	4,038
カメルーン	3,382
ソマリア	3,104
コンゴ共和国	2,703
アフガニスタン	2,105
ナイジェリア	1,769

### 2：麻疹の感染経路

麻疹は主に空気感染、飛沫感染、接触感染の3つの経路（図1）で、人から人へ感染します。特に発症者と同じ空間にいるだけで感染する空気感染を起こすことが特徴的です。2023年5月には、発症者と同じ新幹線の車内にいた2人に感染が確認されました。空気感染は手洗いやマスクでは予防できないため、麻疹ワクチンの接種が最も有効な予防です。ワクチンを接種することで95%程度の人々が麻疹ウイルスに対する免疫を獲得できるとされています。



図1 感染の仕組み（ソニー健康保険組合より引用）

### 3：年代別の定期接種状況

現在日本では、定期接種でMRワクチン（麻しん風しん混合ワクチン）を1歳児（第1期）、小学校入学前1年間（第2期）に1回ずつ、合計2回接種することが推奨されています。しかし、年代により、定期接種回数に違いがあります（表2）。接種率が高くない年代もありますので、**ご自身の予防接種歴については、母子手帳等でご確認ください。**

表2 生年月日別予防接種制度に基づく定期接種回数

生年月日	接種歴
～1972.9.30	定期接種なし
1972.10.1～1990.4.1	1回接種
1990.4.2～2000.4.1	2回 2回目は経過措置 中学1年又は高校3年時に実施
2000.4.2～	2回

### 4：ワクチン接種が推奨される人は？

下記（①～③）のいずれにも当てはまらない方は、かかりつけの医療機関にご相談のうえ、麻しんワクチン接種の検討をおすすめします。

- ①麻しんワクチンを2回接種している
- ②麻しんにかかったことが明らかである
- ③抗体検査にて発症予防に十分な麻しん抗体価を保有している

上記（①～③）にあてはまらない方で、下記（④～⑥）に当てはまる方は特に予防接種をおすすめします。

- ④0歳児や麻しん抗体価が不十分な妊婦がいる家族  
（妊娠中は麻しんワクチンを接種できません）
- ⑤海外渡航を予定している方
- ⑥医療、保育、教育関係者（事務員等を含む）

### 5：さいごに

麻しんは感染力が強い病気ですが、きちんと予防接種を受けていれば発症を防ぐことが可能です。ご自身の健康のためだけでなく、理由があってワクチン接種ができない人や、接種前の子供に感染させないためにも、ご不安な方はワクチン接種状況や感染の有無を一度確認することをおすすめします。また、麻しんウイルスの抗体価の測定も可能ですので、かかりつけの医療機関にご相談ください。

参考資料：

[三重県 | 感染症：麻しん（はしか）について \(mie.lg.jp\)](http://mie.lg.jp)、[麻しんについて | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](http://mhlw.go.jp)  
[麻しん風しん混合ワクチン\(MRワクチン\)を受けましょう | ワクチン.net\(ワクチンネット\) \(wakuchin.net\)](http://wakuchin.net)  
[はしか\(麻疹\)は2回の予防接種が必要 | トピックス | 健康情報 | ソニー健康保険組合 \(sonykenpo.or.jp\)](http://sonykenpo.or.jp)  
[年齢でみる不足している可能性があるワクチン\(キャッチアップスケジュール\) こどもとおとなのワクチンサイト \(vaccine4all.jp\)](http://vaccine4all.jp)